

グリースコレクター

オープンギアの潤滑においてグリースの回収用



オープンギアではギアに塗布されたグリースはギヤ面の横から徐々に垂れ落ちる問題があります。風力発電機の場合は垂れ落ちたグリースが、環境汚染を起こします。現在の風力発電機回収スクレーパが付いているものもありますが、そのスクレーパは毎回、風力発電機のメンテナンスサービス時に洗浄を行わなければならない手間がかかります。

SKF Lubrication Systems Germany AGが開発した自動式グリースコレクターではスクレーパのようなメンテナンスをする必要がありません。

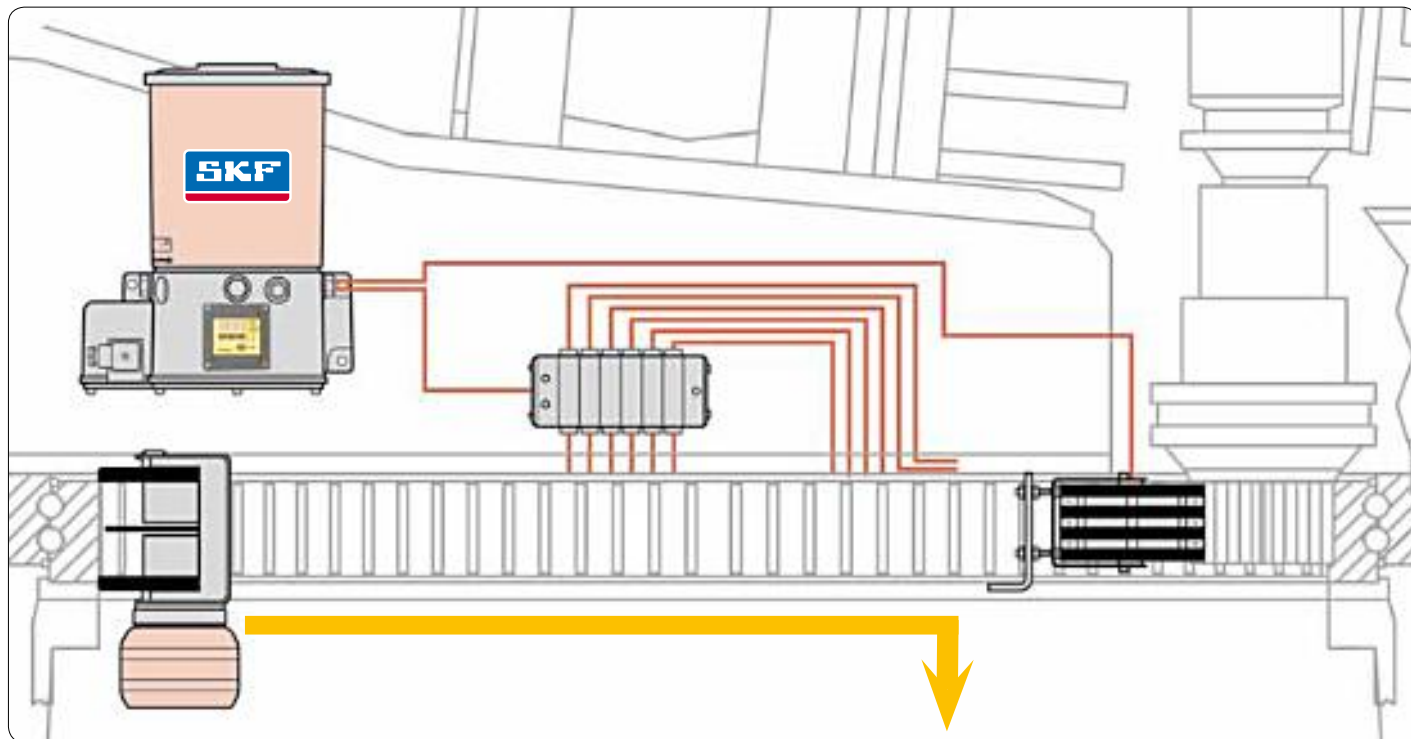
特徴

- 自動的にグリースコレクターにて使用したグリースの回収
- 垂れ落ちるグリースによる汚染の回避
- コレクタータンクの簡単且つ素早い交換

ベネフィット

- 必要なメンテナンスの減少
- メンテナンス周期の延長
- ランニングコスト削減
- 環境に優しい風力発電機
- 事故リスクの減少

機能の説明



1本の軸にギア1個とディスクブラシ2個が付いています。ギアが機械側ギアと接触すればギアと一緒にラバーが回転します。ラバーは機械側ギアをオーバーラップし、付着したグリースを回収します。回収したグリースはコレクターの中にあるスクレーパによってのタンクに回収されます。ただし、コレクターのタンクは定期的に空にする必要があります。

グリースコレクター



グリースコレクターの取付



オープンギアに関する製品

ルブリケーションピニオン



プログレッシブ分配器



グリースポンプ



注文番号 1-0303-JA

無断転載を禁ずる

このカタログの内容については、技術的進歩及び改良に対応するため製品の外観、仕様などは報告なしに変更することがあります。なお、カタログの作成には正確を期するために細か心の注意を払いますが、誤記説漏による損害については責任を負いかねます。

5/2013

ご注意

SKF の各製品はこのカタログ、又は、他の資料で説明した目的範囲外にて、使用しないで下さい。
納入製品に取扱説明書が付いている場合、取扱説明書による指示に従うようにして下さい。

集中潤滑システムにおいては適応しない潤滑剤もあります。SKF は集中潤滑システムに対して潤滑剤の適応性を確認する為のテストサービスを提供いたします。

SKF の潤滑システム及びコンポーネントはガス、液状ガス、溶液による圧縮ガス、また、蒸気圧力が通常の気圧 (1013hPa) に対して最高許容温度の時 0.05Mpa を超える液体に対応しません。

危険性がある材料、特に EC Directive 67/548/EEC, Article 2, Par.2 による危険材料を使用する場合は、SKF からの証明書が必要です。

日本エスケイエフ株式会社

潤滑ビジネスユニット

578-0903

大阪府東大阪市今米 1-15-22

Tel.: (0)72-964-3551

Fax: (0)72-964-1619

www.skf.jp/lubrication

® SKF is a registered trademark of the SKF Group.

© SKF Group 2013

The contents of this publication are the copyright of the publisher and may not be reproduced (even extracts) unless prior written permission is granted. Every care has been taken to ensure the accuracy of the information contained in this publication but no liability can be accepted for any loss or damage whether direct, indirect or consequential arising out of the use of the information contained herein.

このカタログをお渡しした担当者:

